学校だより　令和４年度版

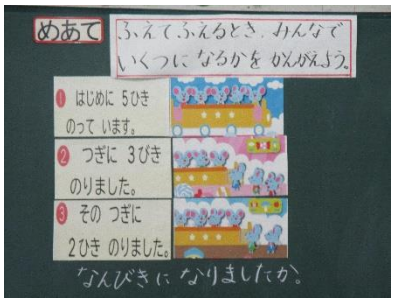
あったか三川内

令和４年　11月４日
佐世保市立三川内小学校
校長　磯平　正敏

学校教育目標：「夢に向かい　自ら学び、考え、行動する　心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【３校合同遠足】

１０月２８日（金）三川内小・針尾小・江上小、３校の特別支援学級合同遠足を行いました。当日は晴天に恵まれ、遠足をするには最適の気候でした。本校のすぎな学級・わかば学級の子どもたちは、引率の先生３名と９：２５分に学校を出発し、路線バスで早岐中学校前バス停まで行きました。下車した後は他の学校と合流し、シルバーボウルでボウリングをして楽しみました。その後、まるたか生鮮市場で思い思いに買い物をし、レジでの清算も経験しました。昼食・自由時間をとるため、早岐公園まで歩いて移動し、公園では、違う学校の友達と自己紹介をし合ったり、一緒にお弁当を食べたり、鬼ごっこやボール遊びをしたりしながら楽しく交流しました。帰りは、JR早岐駅まで行って、電車に乗って三河内駅まで戻りました。交流や交通機関の利用、買い物などの経験を通して、安全に行動する力や公衆道徳を学んだことでしょう。全員無事故で帰校できたのでよかったです。

【校内研究授業】

１０月２７日（木）１年生が算数科の研究授業を行いました。「はじめに（ねずみが）５ひきのっています。つぎに３びきのりました。そのつぎに２ひきのりました。（ねずみは）なんびきになりましたか。」という問題文で、３つの数のたし算の学習でした。子どもたちは、２つの数のたし算は学習していますので、「５＋３＝８、８＋２＝１０、答え１０ぴき」という２つの式に表して計算できることを理解することができました。しかし、ここでは２つの式を一つにすることを理解させたいので、話合いをしながら「５＋３＋２＝」という一つの式に表せることを学びました。この３つの数の計算の仕方を考えるために、ブロックの操作をしました。そして、「５＋３＝８、それに２をたして１０」という計算の仕方を導かせました。つまり、「３つの数の計算は、前から順よく計算するとよい。」ということです。授業の最後の方で、子どもたちは練習問題に取り組みながら、前から順に計算し、正しい答えを導き出していました。計算の仕方が分からなくて困っている時は、ブロックなどの操作を通して理解させることができます。このように、操作や図・絵に表して、目に見える形にして考えさせると理解が深まりますので、ご家庭でも指導の際には、ご活用ください。